愛國婦人會機關

愛國婦人

每月五日二十日發行

（定價）一枚參錢三個月拾八錢半年分參拾六錢壹ヶ年分七拾貳錢全國無遞送料郵券代用（壹錢又は五厘切手）一割增
廣告料五號活字一行四拾錢
本號全部禁轉載

發行所　東京麴町區（牛ヶ淵公園）愛國婦人會內　愛國婦人發行所
發行兼印刷人　山澤俊夫
編輯人　手島益雄

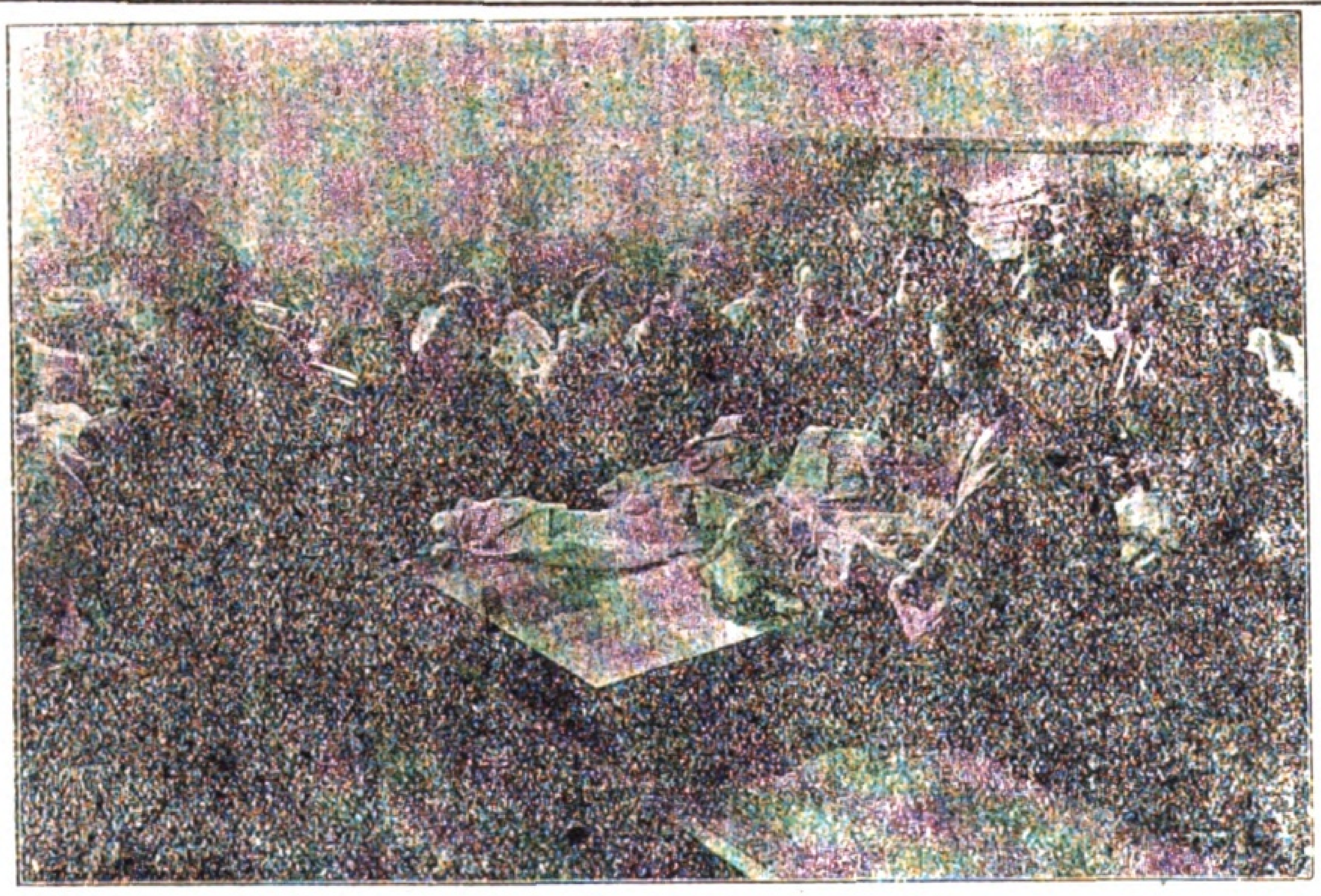
社説

◎迷信

雷が鳴る、電光が閃めく、落ちる、家根を突きぬいて人を殺す、誠に恐ろしい、防ぐ法はあるまいかと、色々思案の上げ句、雷樣と樣をつけ神のやうに崇め奉つて、御機嫌を損ねぬやうに心配する雷は自然の現象にすぎぬが、元は之を恐れて、人間が自然の奴隷となつて、其御機嫌を伺うて居りました。所が世が進んで人間の知識の發達するに從ひ、雷の原因が分つて、電氣と名けられ、電氣鐵道、電話、電信など丶、今は人間の御用を務めて居ります。是に於て人間が主人となり、自然が奴隷となつて、昔とは其位置が顚倒致しました。

また一たび洪水で流されると肥田も石原となる、昨日まで榮えた漁村が海嘯に洗はれて、今日は其跡方もない、鏡の樣であつた、海が俄に浪立つて船がかへり、人が溺れる、水は誠に恐しい、どうか仕樣はあるまいかと考へた末、水には主がある其主の機嫌を取り、其怒を買はぬが上分別と水神といふものを作つて、お供物をあげ、お祭りをして其歡心を求める、此時代の人間には水が主君で人間は家來でありました。しかし今日は之を火で攻めて蒸氣として汽船、汽車其他の機械を運轉せしめ水力電氣といつて、お連れの神樣であつた電氣を誘ひ出して、人間の御用を忠實に務めて居ります、其他風でも、火でも、岩でも、木でも、すべて自然物を崇拜する起りは斯樣なものであります。然るに人間の知識の進んだ今日、尙お狐樣だお丑樣だと云つて、愚にもつかぬものを拜み奉り、やれお呪ひだ、お水だと眞面目に騒いで居る人がある、誠に氣の知れぬ話で、どうしたらあんな事が出來るかと氣の毒になります。西洋には賽錢は無學の稅なりといふた人がありますが、つまり學問のない悲しさには、役にも立たぬ物を難有がつて、むざ〳〵金を捨てるといふ事を云ふたものて、日本にも此無學稅を拂うて居る婦人が澤山あります。此稅たる政府に納めるのではなく、狐に納め、蛇に納め、酉に納め、閻魔に納め、木偶に納めるのである。否、これらをダシに使へる裏面の徒衣徒食者を肥して居るのである。然も其高は決して少くない、彼等は肉に飽き酒に浸つて、御婦人樣と其納稅者を舌を出し乍ら拜んで居る、婦人こそは誠によい面の皮である。それといふも自然に關する知識がないからで、理化學や博物學上の知識のあるものは、そんな事は致しませぬ。婦人に迷信の多いといふのも、畢竟斯る知識に乏しいからであります。

一體蝦で鯛を釣る流儀に、僅のお供物や祈りで以て、大きな利益を得やうとするのは、虫のよすぎる話であります、「心だに誠の道に叶ひなば、祈らずとても神やまもらん」で、正直に働いて、それから得る相當の結果に滿足して居らば、別に祈る必要はありません。自分に働きもしないで、旨い事をしやうと思ふから、自然物を神樣のやうに崇めて、お供物であやして御機嫌が取りたくなります。これは甚だ橫着な仕方で、橫着な事をすれば、一層橫着な者によい目に遇はされます、勤勉なる者は、斯る事に賴らず、汗と力で買へるだけのものに滿足して、其以上を望まず、僥倖を當てに致しませぬ。人間はすべてさうなくてはなりませぬ。働かずに祈るのは、怠惰なる者のすることであります、望む結果は祈つたから來るのではなく、働くから出るのであります。それで斯る迷信の爲に馬鹿なことをせずに何でも働くに限る、働きさへすれば願は叶ひます。婦人には此迷信が餘程邪魔になつて居るから、理科の知識を修得して之を追拂はねばなりませぬ。斯る迷信は數百年若くは數千年前には似合ふたかも知らぬが、今は馬鹿げて居る。それに矢張之を本氣に信じて居るといふのは、今の時世に生れ甲斐のない人と云はねばならぬ。如何に立派な着物を着、美事な簪をさしても、迷信に繰られて居る人間かと思ふと、代なしてある、金銀珠玉で上部を光らす前に、心の曇りを除いて赫々たる光明を放たしめねばなりませぬ。



（東京支部裁縫部作業の寫眞）

◎束髪の前髪

近時東髪の前髪著しく高くなれり、こは婦人が自己の品位を認めて、威嚴を保たんとするの自然の結果なりと云ふものあり、誠に然るべし。婦人が屈從に甘んじて、自己あるを知らざりし時代には、斯る髪形は見るべからざりしならん。

◎感心せざるもの

婦人の肩掛け、羽毛の襟捲き西洋の眞似も事にこそよれ。

◎氣の持ち樣

出征軍人の接待、傷病兵の慰問、軍人被服の調製慰問袋寄贈等、十年前の日淸戰役には絶えて無くして稀にありしものが、此の度の戰爭には婦人に依りて盛んに行はれつ丶あり。戰爭のか丶りが違ふとはいへ、婦人の活動の增大せしことは疑ふべからず。然らば家內の事はお留守かといふに、矢張平常通り營まれつ丶あるなり。つまり人間は氣の持ち樣にて仕事は出來るものなり。

冬將軍と紅姫

（征北の將卒へ贈る毛布に添ふべく）

平木白星

一

白絲縅、銀の盾
雲に紛るゝ老の髪
髯もましろき冬の將
日の御軍を禦がむと
北の皇帝の泣き乞ひに
馳る逸駿の高嘶え

二

天つ狹霧を搜き披き
その手を額に俯瞰せば
銃を枕に大和びと
今か異境の假りの夢
夢に何みる、火も燼えて
片頰に笑みの夜寒むき

三

吹雪の百箭射ふらすと
老將弓をよつびけば
夢の主を袖に蔽ふ
頰あかき少女そは誰ぞ
猛夫護るとて遠く來し
故郷人のつかはし女

四

張れば北風觸れて鳴る
弓弦情けにゆるまでや、
空にためらふ魔を知らで
幾夜いを寢ず添臥に
義の血、愛の血あたたむる
紅姫あかき忠實ごころ

電話番町五百二十番

◎本號には附錄として監事男爵夫人三井苞子富山縣幹事村節子長崎縣幹事降幡たか子の肖像を添ふ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◎生產組合の話（其二）

農學博士　酒匂常明

◉養蠶の爲の組合　蠶絲によつて千億の正金を外國より取入るがこれは多くか弱き婦人の手に依りて產み出さる丶國益であるされは婦人は特に注意して可成安上りに可成良き生絲を作り出す樣にさま〴〵の仕方を研究して愛國婦人の名に背かぬ實を擧げねばならぬさて養蠶を副業として各戸收繭一石位の養蠶を爲す場合に各戸に備へないでも事の足る器具の類は生產組合に備へ置き交番に使用すれば利益である例へば消毒器の如きものである又乾燥室も組合に於て乾燥するさうして各自の座繰にて絲をとるならば絲は組合備付の道具にて揚返しを爲すといふ風にするのである斯の如くすれば資力の乏しい人も猶資力を有する人と同じ樣に立派に養蠶することが出來て利益が多いのである而して出來た繭や絲を賣るには所謂共同販賣の法に依るが利益である總じて共同の仕事には苦情が多く出るものであるが事理を解する人は多少の不平は之を忍んで一致前進するの氣力と公德心がなくてはならぬ。

◉組合の經營　組合員は其引受け口數に應じて出資するのである拂込の方法は色々に設けることとが出來る一時拂でも漸次拂込むともそれは規約に隨意に定めて宜しい此出資で器具なり機械なり組合の目的とする事業に必要なるものを買求めるとか又他より借受けるとかするのである而して組合の日常の經費は如何にして支辨するかと云ふと組合員より使用料なり又加工料なりを取るのであるそれを定める際には組合が儲けやうと謂ふ考へを以てはいけぬ組合は組合員直接の利益を計るが產業組合の特色であるから出來るだけ安くして組合員に直接に利益を與へやうと云ふ心持がなければならんのである此の如くして年度の終に決算して剩餘金が出來ると一部は準備金に積立て其殘りは分配しても宜しく又特別の積立金としても宜しいのである組合が永續する程組合財產も增殖する其の組合財產に就いては多くは組合員は出資に應じて權利を持つて居るから其の持分は組合を脫した時とか組合が解散した時には自分の物となるのであるだから組合員と組合財產との關係は丁度隨意に引出すことの出來ない貯金をして居るのも同じことて使用料や加工料を拂ふのは自分の金を遣つて自分で儲けて居るのと同じ事である

◉婦人の組合計畫　養蠶に關する生產組合などは婦人方自ら進んで計畫せらる丶樣にしたいと思ふ養蠶地方では未婚の婦人が養蠶に從事して其利得て嫁入仕度の用意をする斯の如き地方は勿論他でも女子許で困難ならば男子と共同して生產組合を作れば不完全な仕組で養蠶するよりも遙に利益であらう今日の女子は昔日の女子に比すれば大に地位を高められた牝鷄の晨を告ぐるの吉凶は論外として少くも男子と共に立働くだけの覺悟を以て事業の上にも玉手を延ばさる丶樣したいのです

◉養鷄組合　朝早く起き夜遅く寢ね終日營々として其子をはぐゝむ勤勉の鷄の恩愛の樣は人生の好模範ではありませんかまして其淸らかなる聲やさしき姿如何ばかり勞れたる心を慰むるでありませう而して其卵と肉とは吾々に最完全なる滋養を與ふる斯の鷄の飼養は上下を問はず婦人の仕事として適當なるものでありませう而して之を經濟的有利に飼ふには矢張り生產組合を應用するがよいのです是れは組合に種鷄孵卵器雛舍などを備へて組合員に使用せしむるのである組合にて大なる鷄舍を立て丶各自の鷄をこ丶に育てることとして交番に之が管理をなし或は管理する者を雇ひ置きて飼養するのも一法であるが簡便にして行はれ易き法は各組合に種鷄或は孵卵器を備へて雛を孵へし之を各組合員に頒ち各組合員は各自の家に於て之を育て卵を產ましめ或は食用鷄にするのです生產額が大きければ共同販賣して隨分家政の足しになる利益を得ることが出來るのである

◉園藝組合　組合で共同の園を設け農具杯も備へて置き果物や花を作り出すのも一法であるが又組合で種苗を育成し之を組合員に頒ち組合員は自宅の周圍等に之を殖栽することとし且つ鎌鍬害虫驅除器其他の必要器具等をも組合に備へ置き交番に組合員に使用せしむることとし而して出來たる產物は成るべく共同販賣をするのです

◉御化粧料の御儉約に勝る　是等の組合は一般に中小產業者が組織することを理想とするのであるが是れ等の人々ばかりではむつかしいから男女を問はず中流以上の人が直接間接に大に盡力せられ模範を示さる丶ことを願ひたい而して是は單に社會の爲國家の爲と云ふ計でなく前にも申せし如く實に中以上の人の永久に幸福を得らる丶基となるのです又當今婦人方が奉公の爲色々公益事業に從事されるのは誠に結構であるが是等の事業に投ぜらる丶費用はお化粧料や衣服料を節するばかりでなく生產組合の如きものを組織して其利得を以て之に向けらるれば男子の力を煩さず自己の力で目的が遂げらる丶一擧兩得の方法であらうと思ふ

◎婦人の活動

評議員　廣岡淺子

左は廣岡氏が此程上京せらるゝを幸ひ訪問して聞き得たる談話の要領なり文字の責は記者にあり

◉婦人の戰地視察　戰地の軍隊を慰問するが爲に貴婦人方が向はれるのも必要の事であるが單に慰問するばかりでなく戰場は素より滿洲の野に婦人の爲す可き仕事が落ちては居らぬかこれを視察に往く必要があると思ふ人間は到る處仕事を見付け出し働く可き役目を持つて居るから慰問して軍隊を慰めるばかりでなく忠勇なる兵士が働くに連れ婦人も何か助けになる仕事があるに相違ないから夫れを見付け出しに往く必要がある自分もバルチック艦隊の處置が片付いて海上平穩となりし曉には戰場巡視に出掛け滿洲のみならず南淸の方をも廣く巡視して婦人社會に何か仕事を持つて戾る積りである

◉婦人の社會上の地位　婦人も社會の一員である社會を組織して居る分子である人間の半數は女であると云うて見た處で殘念ながら今日の日本婦人は社會上の地位は一も認められて居らぬ男子に賴つてどうか社會上の地位を與へてくれと賴んだ處で男子の方から進んで引上げてくれる者てない故に婦人は婦人自身で社會上の地位を獲得せねばならぬ東西の歷史に徵しても婦人自身によつて婦人の地位は得られたのである

◉婦人の修養を要す　幾ら口が達者でも手が働かねば仕事は出來ぬ口よりは手である議論よりは實行である故に婦人が社會の一員である以上は社會の一員としての働きを適當になさねばならぬ今日の婦人は何をさしてもよく出來る社會からも婦人は實に役に立つものであると認めらる丶だけにならねばならぬさすれば求めずして社會上の地位は得らる丶夫れには婦人自身の修養と云ふ事が必要である

◉本會の事業　一方には會員を多く募り資金を增し他の一方には授產業を起し軍人遺族をして獨立自營の途を講ぜしめ兩々相對して進むと云ふ事が必要である授產業の方も本氣でやる人がなくてはいけぬ甲が習へば乙に傳へ乙が習へば丙に傳へると云ふやうにして益〻發達せしむる事が必要である

◎幸福村の話

內務省地方局　相田良雄

◉最貧者にも一萬圓　日本の生產力を興すには地方の村を良くすると云ふ事が一番大切であります村さへ良くなれば一國の資源は盡きる事はありません私の御話しするは日本で一番良く組織せられて居る伊豆國稻取村の話してありますが村長の盡力で其村の內では最下等の貧困者でも長い歲月の間には一萬圓を積立て得る計畫を立て丶現に實行して居ります

◉母の會　何程村が富んでも子供等の敎育が惡い時は崩れて仕舞ふ道理でありますから良き子供を作る爲に先母を良くすると云ふ考へよりして母の會と云ふものを組織して家庭改良を行うて居ります

◉處女の會　學齡を過ぎた娘の爲に處女の會と云ふものが組織してあります此處女の會では會員の品行方正なものやよく働く者には賞與として簪なり針刺なりを贈ります之を贈るについては母の會で母たちが投票して其上で贈ります

◉離婚が少い　處女會の會員が結婚する時には會よりして十分なる訓言を與へ萬一にも不都合なる所爲があつて離婚せられたならば村の名譽を毀けるものであるとして村に選入る事は許さぬ掟になつて居るから自然忠實に働き離婚せらるる人が尠くなつて居る若し又男子の方で不都合なる所爲があつて離婚する場合は處女會に訴へる事が出來て會は同情と公平を以て之を救ひ裁斷する事になつて居るから男子の方でも猥りに離婚せぬ事になつて居る何んと幸せな村ではありませんか

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

史傳

武士氣質（内田兵庫妻）

須藤求馬

今は昔内田兵庫助隅昌が妻は鳴瀧清長の娘なり。隆昌勝定院將軍家（義持公）の旨に違ふことありて出仕を止められ、京の西山の平岡と云ふ在所に追籠られてありしほどに、朝夕の設も既に盡きなんとするとき、此妻弓矢を携へて立出て野畠にあさる鳥を射留て京に持行き、萬の物に交易て日々の烟を立てけるが、或日雙岡の邊にてはしなくも將軍家に行會ひまゐらせたり、避くべき木陰なども無りしかば、路の傍につい居たり。將軍家あやしみ御覽じて、何故に弓矢を持たるぞと問はせられしに、ありの儘に答申せし折こそあれ、向の山際に山鳥一翅出來れり、將軍家あれを射よと宣へば承はり候と云ふより早く射落したり。將軍家興に入らせ給ひて、猶鳥を求めたまふに、凡そ二丁ばかりを隔てたる田畔に白き鳥の見えけるを指さしたまひ、少しく遠けれどあれをば如何にと仰せらるゝとき、仕り候はゞやと申して、少し歩み出て、亦これをも射落しぬ、愛まどはして祿賜はんとて物を召したまふを見て、祿には粟一斗を給はらば餘り有らんと云ふ。依て其意を問ふに、今日は、はからず御成に參り會ひて、一日の活計を妨げしと存ぜしに、御諚にて鳥二羽射留て候へば、一斗の粟に交易る程の物實を得たれば也と申す。其理明なれば粟を賜ひ、且、夫の名を問はれしに、夫の知りたる事に候はずとて言はず。强て問はれしかば、武士の妻に候、一度申さじと申せしものが度重なればとて靡き申すべきや、御暇給びてんとて罷りたつ。行くこと二町にして又白鷺の群翔を見て、一矢に二翼を射留め、今日は幸よしと打笑みつゝ行くを、將軍家はるかに御覽じ、あの女の歸る家を見屆て參れとて跡を慕ひつゝ追はせられしかば、内田が妻とは知らせ給ひき。かくて後内田も御前ゆるされて出仕したりける時に、自然内田も妻が射事を能せしをも知りて一日妻に向つてかゝる事や有りしと問ひけるに、武士の妻たらん者の小鳥を射留めたる、何の珍しきことかはと答へて紛らしつゝ居たりけるとなむ。

唐土にては、魏の武帝の媚々公主の角弓を引きて翔鵠を射落し、爾朱妃の長弓を引きて飛鳥を射留めしと云ふ事北史に見えたり、されど、内田が妻女の心根のゆかしきに較ぶれば如何ありしや。

小說

我祖父（一節）

中村春雨

今はもう墓の下に眠てゐられる、眼の大な、鼻の高い、憶ひ出さうとすると、次第に斯う瞭然と、眼鏡を懸けた、逞ましい、入齒した口元の締つた御顔が眼前に顯れて來る、叱られる時は心から恐つた、可愛がられる時は眞實に佳い祖父樣だと思ふた。

ドウンアンクヱアン附近に於ける某徒步砲兵隊戰鬪の景大本營移隊寫眞

　自分が未だ產れない前、男子だらうか、女子だらうかと、祖母樣と二人で常時も其事許云ひ合つて、神鬮を引いて見たり、算木を立たせたり、いろ〳〵氣を揉んで、金時が飛ひ出すか、お多福が躍り出すか、可愛い初孫を儲けるのだからいづれに愚かはないけれ共同じ事なら金時のやうな男子であれかしと心にも思ひ、口へ出しても云はれた事であらう。

　注文通りに自分は生れたのであつた、眼に入れても痛らないといふ程の可愛がり樣、母が添乳の現なくつい夢に入ろうとすれば傍へ立寄つて寢像を窘めて乳房で子の呼吸を塞くやうな大事も仕出兼ねまい、氣を附けいと異性になつての御叱言、小い咳一つ聞えても、さア寢冷さしよつたと以ての外の御氣色眞に〳〵汝の爲に何度叱かられて辛い思をしたか知れないと、物心附いてから母上が自分に向つて屢〻語られるのであつた。

　五六歳の時である、自分は祖父樣が、裏の柿の木の下、日當よき處へ莚を敷いて、鋸、鉋、三稜錐、摺細齒、釘拔、その他いろんな細工の道具を入れた箱を出して、その傍で木の臺を据ゑて、竹を削り、穴を鑽み、鳥籠を拵らへてゐられる處へ行つて、靜とそれを眺めて居た、つい猿眞似がして見度くなつて、祖父樣の顏をじろ〳〵見ながら笑ひかけて、徐と道具箱をいぢらうとすると、「こらこら、怪我をするが……そんな惡戲をしてはいけぬ」といつて、お叱りなさる、恐くて、自分は直と手を引込めて了うのが例であつた。

　祖父樣はいはゞもう樂隱居で、小鳥を飼つたり、接木をしたり、芍藥の根を何處からか分けて貰つて來たり、菊苗を餘所の隱居から所望せられたりなんかして、お居たのだが、それでもなか〳〵健康で、唯遊んで暮すといふ事は出來ない性分なので、祖母樣と一緒に、山の畑へ、肥を擔いで行つて、豆を蒔き、麥を作り、楮を育て、芋を植ゑ、四季それ〳〵農作の事にも身を入れてお居てあつた。

　夕方、山の畑から仕事を濟まして、お歸りになると、待ち構へてお土產をねだる、そのお土產は何時も、山の麓の茅葺の軒の歪んだやうな、奧の薄暗い、茶屋の店で買つて居る捻ぢ菓子、飴ン棒、絞切、そんな者と定つて居た、慾を渇いて、も少しと云つて、指を啣へ、お祖母樣に强請りかゝると「そんなに澤山喰べてはお腹が痛うなります」と、祖父樣が眞面目な顏をして仰やる、こんな時は自分は何うも恐かつた。

　祖父樣は亦お話が好きて、お話がお上手で、雪の降つた冬の夜なんか、祖母樣と自分と三人で、丸くなつて御部屋の炬燵に當つて居ると、母上や、近所の人なんかが、お話が初つただらうと思つて、遣て來られる「お話をして下さい」つて自分が促きたてる事もある、誰かゞ御願する時もある、すると祖父樣は、四角な籐の把柄のついた煙草盆の上へ手を當てゝ見て、火があるか無いかをご覽になつて、無かつたら炬燵の中から螢のやうなのを二つ三つ、火箸で拾ひ上げて、煙管へ煙草を詰めやがてすぱ〳〵吹かして、咳拂をして、さアそれから賤ケ岳七本槍のお話が始まるのである。

　その時には、煙草盆や銀の鎖の附いた煙草入や、火燧の殼や、灰吹竹の蓋なんかゞ、砦、城、陣屋の身代にせられ、眞鍮の煙管が佐久間玄蕃頭の乘つた馬になつたり、三十六貫目の鐵の棒になつたり、中山瀨平淸秀に早替りをしたりなんかする、自分は面白くて面白くて「それから……それから」て、頻と後を促すのであつた。

　アヽ、今はそのお話も自分が是から千年万年生きてゐても最早聞く事は出來なくなつた。

散文

小羊

片上天弦

　小さなる羊よ、汝は誰にか創造られぬる。あゝ汝、汝をつくりし君を知れりや。汝にこの世の生命を授け、水は小川の流れに飲み、草は牧場をいゆきて喰めと、汝に敎へし君を知れりや。こゝちよき衣、やはらかき衣、光りそふ撚毛の衣を、汝に授けし君や誰れなる。反響をひゞけば谷々よろこぶ、世にもやさしき汝が鳴く音を、授けにし君や誰なる。小さなる羊よ、汝は誰にかつくられぬる、あゝ汝、汝をつくりし君を知れりや。

　小さなる羊よ、われ其を汝に告げなまし。小さなる羊よ、われ其を汝に告げなまし。その君みづから「神の小羊」と呼びなしたまへば、その君の御名は汝が名によりてぞ呼ばる。その君、ものやさしくおだやかにおはします。その君、「神の幼兒」となりたまひぬ。われも亦神の幼兒よ、汝もまた神の小羊よ。あなや、われらは「神の子」の御名によりてぞ呼ばる。少さなる羊よ、汝が上に神の幸あれ、神の幸あれ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

家政

◎子供の心

◎胎兒には心があるか否やは問題でありますが目耳鼻の三官は無論胎内では働きをしませぬから是等の感覺はまだ無いが舌の感覺はあるやうです

◎胎兒は生れる前から舌が備つて居ります又絶えず液體が之を刺激して居りますから味の感覺は起ると思はれる又皮膚の感覺も多少發育して居るに相違ありません

◎胎兒が胎動を始めるのを見ますれば筋肉の感覺も存在して居る事が分ります以上種々なる感覺が相總合して胎兒の心はぼんやりした氣分が主となツて居るに違ひありません

◎嬰兒の心とても胎兒と大した違ひはありません生れる時に強く泣きますが其泣くはどう云ふ心で泣くか或る人は人生の苦痛を豫言する叫聲だと云ふ人もある信ぜられません

◎出産の時の叫聲は出産の困難外氣の刺激光線の刺激の爲に發するので此叫聲は一面は肺の働きを開始し一面には未來の生活を開始する發端となるのである

◎嬰兒の心は感情的であツて主として氣分の支配を受けて居るから苦樂に感じ易く僅の刺激に逢ふも忽ち泣き忽ち喜ぶのである

◎子供は其初は皆盲目です併し光線にだけはいくらか感じます子供が生れて間もなく頭を光線に向けるのは丁度向日葵の日光に向うと同じ理由で別に心あツてのしわざではありません

◎幼兒が手を伸べて月を取らうとしたり二階から下の人にだかれやうとしたりするのは距離の觀念が容易に發達せんからであります

◎嬰兒は始め耳も聾であります學者が種々試驗して耳の側で大きな音をさせても何の印象をも與へません時としては生れてより三週間位此の有樣が續く事があります

◎嬰兒は音聲に感ずることは甚だしいもので音樂を好む著しいのです是れは音の變化を好む動物自然の狀情に基づいて居ります

◎子供の身體の或る部分を突いて直其の突かれた處をよく示し得るは餘程觸覺に修練を積んだ上の事です生れて後には一面には空氣の寒温で温度の感覺に修練を與へ一面には衣服其他身體に直接に觸れるにより觸覺に修練を與へるのです

◎子供は生れた儘ですぐと味を感ずることが出來ます一般に甘い味に對しては生れながらにして快感を表はし苦い味に對しては不快の念を顯はします子供の中は消化器系統を中心として活動しますから舌の感覺は教育上大切です

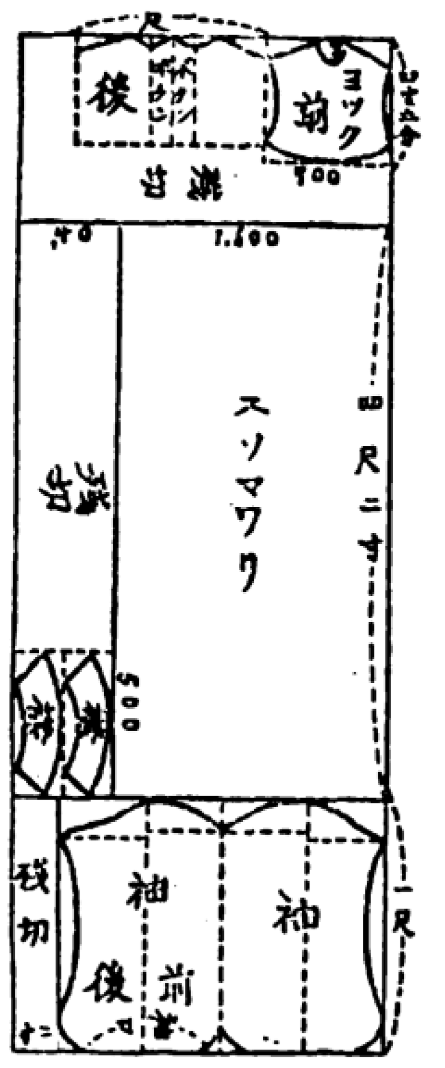
◎新生兒は強い香には感じますが弱いものには感じません嗅覺は之によつて知識を得ることは少いが氣分に影響する事が著しいものです

◎感覺機關の健否は非常に精神全體の作用に影響するものです其内の一が惡くても氣分全體が惡く氣が短く記憶がわるく理解が鈍りますから子供の間は注意せねばなりません運動を自由にして感覺機關の刺激に變化あらしむる事が必要です

◎小兒用西洋服仕立方

（本紙第六十三號四ページ巾圖參照の事）

長さ六尺の布を以て上左圖の如く裁ち總て袖、襟、二個以上同形の者入用の時は圖の如く二つ重ねて裁たば少しも違はぬ形に裁ち得らるべし



◎泰西婦女訓

◎最も忠實なる婦人は人の目に觸れざる所に於ても窃に働く者なりその所爲は貴くして獻身的なり

◎深切は深切を生み信用は信用を作る極めて些細なる深切の行も其人の品性本質を發揮するもの也

◎偉業を爲さんとする婦人は先づ小事より始めよ望む所高ければ高きだけ謙遜の基礎を作る可き也

◎己のみの爲に生くるは眞に生くる者と謂ふべからず聖き事を行ひ正しき心を有つ人こそ富者なれ

◎愛の爲に成されたる事業は金錢の爲に成されたるものに優る事數等也前者は人を感奮興起せしむ

◎男女品性の柱石は家庭の中に据ゑられたり之を煽り立てゝ熾んならしむるは一に母の感化に待つ

◎家庭の女王よ御身の前には花悉く咲き匂ひ御身が足跡の印する處には妙香薫ず夫も子も之に導かる

◎小兒は鑄型に入るべき物として己の意思に形作らんとするは小兒を侮辱する也彼に自由を與へよ

◎家計簿其他財産目錄調製雛形

家計收入科目一覽

貸地料
貸家料
俸給
公債利子
預金利子
年金
營業利益
田畑收入
森林收入
雜收入

家計支出科目一覽

食費
被服費
借地料
借家料
諸稅
教育費
養老費
交際費
小遣費
備品費
通信費
雜用費
給金
娛樂費
衛生費
圖書費
修繕費
保險料
慈善費
貯蓄費
臨時費

日用獻立西洋料理表

ポーチドエキス
ハムネエキス
コキール
アイルスチユ
ハンバクステキ
ベチハテー
オクステール
カランバテー
チキンプレゼー
フリカッセー
ガランヂー
ビフテキ
ロースビーフ
小牛ロース
ハムサラダ
肉サラダ
マカロニチキン
チキンライス
ヒレスチユ
ヒレビフテキ
鳥カツレツ
鳥スチユ
チキングレロ
チキンワース

スープ
フライフエシ
ボイロエキス
オムレツト
コロツケー
ビフスチユ
ロールキャベツ
ポテトスープ
トマトスープ
野菜スープ
フライエキス
スカンブルエキス
ビフカテレツ
小牛カテレツ
小牛チヤツプ
メンチカテレツ
タンスチユ
フリカンドビフ
デブルスチユ
メンチボール
メンチビーフ
メンチエキス
ハヤシビーフ
トツチトツプ
ライスカレイ

日本式小遣帳

月日	支出豫定額	實際支出額	殘	不足
一日	0、五00	0、三00	0、二00	
二日	0、五00	0、四00	0、一00	
三日	0、五00	0、四五0	0、0五0	
四日	0、五00	0、八00	0、0五0	
五日	0、五00	0、九00		0、四00
六日	0、五00	0、三00		0、0五0
七日	0、五00	0、五00	0、一五0	
八日	0、五00			

洋式小遣帳

年月日	事項	支出豫定	實際支出	殘	不足
1		1,000	0,800	0,200	
2		1,000	1,000	0,200	
3		1,000	0,500	0,700	
4		1,000	1,800		0,100
5		1,000	0,800	0,100	
6		1,000	0,400	0,700	
7		1,000	0,400	1,300	
8		1,000			

財産一覽表

財産項目	購入高 事由	購入高 金額	賣拂高 事由	賣拂高 金額	現在高 金額
株	何處購入	500,000	何處賣却	200,000	300,000
家屋	從來所有	1,000,000	缺損	200,000	800,000
株	購入	300,000	相場下落	50,000	250,000
預金		200,000			200,000
固定資本金		1,000,000	缺損	200,000	800,000
現金		200,000			200,000
計		3,200,000		650,000	2,550,000

月々計算表

出納年月	收入 前月越	收入 俸給	收入 貸家料	收入 雜收入	收入合計	支出 賄費	支出 何々	支出 何々	支出合計	差

貯帳

年月日	事項	豫算高	實行額	殘	不足

年計表

出納月別	收入 前年越	收入 俸給	收入 貸家料	收入 何々	收入合計	支出 何々	支出 何々	支出 何々	支出合計	差

日用帳

年月日	科目	入金	支出額	計	過不足

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

會告

十二月十四日第二水曜日午後二時より評議員會を開き來年度の豫算を議し同日を以て本年の納會と致候條萬障御差繰御出席有之度此段及會告候也

十二月　愛國婦人會本部

本部評議員各位

愛國婦人會記事

◉評議員開會期日　十二月中の評議員開會期日左の如し

十二月十四日（第二水曜日）

◉評議員會　去にし十一月廿二日評議員會を開けり當日出席者は會長岩倉久子理事島津田鶴子山内禎子谷久滿子評議員岡部延子松平八百子松平雅子中山幸子柳谷千代子奥村五百子仁杉歌子鄉濱子松浦島子藤井とく子岩佐純子關郁子佐藤猶子弘田作子の諸氏にして議案は救護金贈與方法及戰病死者會葬方の件等にして午後五時散會せり

◉會計監督新任　本會會計監督として興業銀行總裁高橋新吉氏新に囑托せられたり

◉監事新任　公爵夫人九條惠子氏は新に本會監事に囑托せられたり

◉閑院宮殿下へ祝詞　本會に深き關係あらせらるゝ閑院宮殿下は此程中將に昇進あらせられたるにつき會長より左の祝詞を送られたり

拜啓時下天高く馬肥ゆるの候閑院宮殿下御出征後愈御壯剛被爲渉奉賀候陳者去三日の吉辰に殿下には御榮進被爲遊候義謹みて祝意を表し奉り候爲君國益々御自重被爲在候樣奉祈居候

去十月十二日沙河大戰の折は殿下に於かせられては騎兵大集團を御引率相成古今稀なる御勇戰被爲遊遂に彼大勝利を見るに至れるは誠に歡喜雀躍の至りに御座候實に此度の御勵は深く人心を感動し人々をして殿下の御英姿風采を想見し讃歎に堪へざらしめ永く史上の偉績壯觀として我軍人の龜鑑とも可相成事と感泣仕候時局の前途は尚遼遠にして痛心の至に有之愛國婦人會も我が總裁殿下御厚庇の下に追々事業擴張致し會員も殆ど二十三萬に達し候に付彌々邦國の婦人として相當の活動も可致覺悟に罷在候間乍餘事御安慮被爲在候樣奉願上候右は本會を代表し御歡申上度候に付可然御執達願候草々敬具

（ワンプヤシウエンヅイ鐵道附近の戰鬪の光景　大本營秘藏寫眞）

◉岡部子爵夫人　來春匆々會員募集の爲遊說員富樫氏を伴ひ關西地方に出張せらるゝ都合なり

◉寄附金披露　出征軍に從ひ觀戰中なる外國武官より左の通り寄附ありたり

過般外國武官一同に愛國婦人會規則書英譯文御送付有之候處武官中同會之趣旨を贊し別記之通り寄附金有之候に付御通報申上候也

追て寄附金は取纒め軍事郵便爲替にて愛國婦人會へ送金仕候

明治三十七年十一月十一日

第三班從軍外國武官接伴掛

陸軍砲兵大尉　島内國彦

大本營陸軍副官堀内文次郎殿

金五拾圓　土耳古國大佐　ペルテヴベー
金五拾圓　獨乙國中尉　ウオルスケール
金拾五圓　智利國大佐　ソラール
金拾五圓　伯剌爾國大尉　キヤマレース
金拾五圓　西班牙國大尉　エレーク

以上の外尚左の寄附金ありたり

一金八百四拾六圓四拾錢　在布哇三百五十九名

内拾圓以上の寄附者左の如し

金五拾圓　住田松次郎
金參拾圓　宮川智補
金貳拾貳圓　金子彌市
金拾五圓　渡邊勇太郎
金拾圓　高瀬佐市
金五百參圓七拾八錢　北米桑港　松風園
金百圓　諾威國人　ハンスピー、フレール氏
金五拾圓　兵庫　伊藤ひで子
金拾圓　長崎縣　小川武馬

但故陸軍騎兵少尉小川質馬氏の遺言寄附にかゝる

正誤　十一月三日發行布哇國在留者寄付姓名中曾我兼次郎は菊次郎の誤、安藤茂平次は安齋の誤、堀田吾策は增田の誤りに付正誤す

◉遞信省よりの特權　軍人送迎の爲本會員が新橋停車場のプラットフオームに入るには從來入場料を支拂ふ掟なりしが此程遞信大臣より特權を與へられ幹事以上の人にて所定の徽章を佩用するものは入場料支拂を要せざる事に定められたり

◉京城婦人會　東京日々新聞京城よりの特電によれば京城婦人會にては去月廿八九兩日婦人音樂會を催したるが其の純益は我が會に寄贈する筈なりと云ふ

◎各地支部の狀況

◉東京支部　會員募集の爲十一月卅日赤坂演伎座に於て、本月一日二日錦輝館に於て幻燈會を開きたるが三日間とも奧村刀自出席說明の勞を執られ尚尾崎男爵角田代議士も來ッて勸誘演說を試みられたるにより來會者に一層感動を與へたり

裁縫部の事業も漸次發起し總裁殿下並に宮中女官及岩倉家島津家公爵德川家より工女を送られ專ら裁縫に從事せしめられ其他谷子爵松平子爵尾崎男爵各夫人を始め評議員幹事中の有志者二十餘名日々出席業務を執られ軍人の家族も數名來りて業務を習ひつゝあり又麻布區には故陸軍步兵少佐藤田景德氏未亡人の宅に支所を置き尾崎男爵夫人折田幹事等監督の下に軍人家族拾數者に授產中なり其他近衛家岡部家松平子爵家には裁縫部より材料を受取り邸内にて專ら斯業の爲に盡されつゝあり東京府教育會附屬女學校にても同樣裁縫に從事せり

◉長崎支部總會　第二回總會を去月十三日同市交親館の前庭に於て開會せり式場の正面には總裁殿下の御寫眞を奉掲し式場には幔幕を打ち廻はしたり午前十時を報ずると共に會員一同式場に參列し後藤主事開會の辭を述べ事務員の會務報告あり荒川知事は總裁宮殿下の御諭旨を奉讀し之に對する支部長の答辭あり顧問幹事來賓の演說祝詞あり總裁殿下の萬歲を唱へて閉會せり當日の來會者は無慮二千名の多きに達せり閉會後諏訪公園内に園遊會の催しあり一同滿足して散會せり最近同支部會員は左の如し

一、總會員數九千九百九十九人内特別會員千八百九十人一時納金濟三百二十八人通常會員六千五百三十三人一時納金濟四百五十六人なり

◉愛知縣支部　同支部内寶飯郡幹事中山とわ子氏は患者用帽子二百五十個を豫備病院に送れり

◉富山支部　東礪波郡井波町の本會會員首唱となり冬營用胴着七百枚を戰地へ送れり

◉京都支部　今五日午後一時より支部會議室にて聯合區會を開き幹事參事を招集し來年一月に於ける祝賀會並に各區委員の推薦に關する件を協議する筈なり

◉三重縣支部　阿山郡に於ける本會有志者は恤兵足袋五千四百五十五足を戰地に送れり

◉大分縣支部　南海部郡部會發會式を十一月廿日擧行せり其概略を記さんに始めに總裁殿下の御眞影を拜し君が代の唱歌を奏し次に幹事部長事務の報告を爲し大町禎子氏總裁殿下の御諭旨を奉讀し支部長以下の祝詞あり餘興として筑前琵琶等あり出席者は三百餘名非常の盛會なりし

◉新潟支部　同市三條町本會幹事鈴木三千子山石イシ子主唱者となり出征軍人恤兵寄贈の爲十一月五日より防寒用毛布を募集せし處有志者九十五名にして毛布百三枚を集め得たりと云ふ

◉岡山支部　豫備病院の病者慰問の爲書籍を取集め二千餘冊を寄贈したり

◉群馬縣支部　群馬郡の本會員發企となり軍隊慰問袋を募集中なり

◉鳥取縣支部　本會員發企となり防寒用手袋足袋を募集せし處非常に多く集まれりと云ふ

◉社告　本紙新年號には例により大附録を添へ一月一日に發行致候附ては會員并に役員の方にて年賀廣告御希望の向は郵券貳拾錢封入本月十五日迄に申込まれたし但行數は貳行限り

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

雜報

◎運動界

○市街鐵道附近の運動界(其二)

二重橋近傍、靖國神社、星ヶ岡公園、日比谷公園、虎の門金比羅、愛宕山公園、芝公園、龜井戸、堀の内祖師堂、新井の藥師、十二社、目黑及目白の不動、四新井大師、蠣町水天宮、深川不動尊

○總武鐵道(兩國橋以東)(其三)

○柴又帝釋天(小岩驛より二十丁)○鴻の臺(市川驛より十五丁)○八幡不知の森(市川驛より十八丁)○中山法華經寺(中山驛より三丁)○三咲欅(船橋より一里半)○紗行寺○羽志野(日口驛より二里半)○長作夫婦梅(幕張より二十二丁)○稲毛海氣館(稲毛より七丁)○猫の鼻臺(千葉より十丁)○佐倉宗吾靈堂(酒々井より二十丁)○成田不動(成田より二丁)○銚子○一ノ宮○勝浦

●本會幻燈會 の第一日は去にし十一月三十日午後六時より赤坂區溜池なる演技座にて催せり折から時雨の空となりしも麹町四谷赤坂芝の方面より集へる人々場に充濟浦錬子松平芳子高木から子尾崎八重子柳谷千代子森村菊子小浦義子金子貞子村田うた子服部文子等の評議員幹事たち會場斡旋の勞を執られやがて富樫女史は開會の挨拶を兼ね幻燈の説明をものし總裁殿下の御諭旨尊像を始め本會に關するもの數回にて一先づ幻燈を中止し次て松林伯鶴の從軍所見の講談ありそれより奥村女史并に男爵尾崎三良氏の演説ありいたく感動を與へたり暫時中休の中評議員幹事諸夫人は入會申込書を場内に持廻りて入會者を勸誘せしに申込書を貰ひ受けし者頗る多く中には即座に入會せしも數々ありきやがて再び幻燈を始めこたびは大本營より本會が借受けたる戰地の寫眞にて富樫女史の説明悲壯慷慨と相埃ちて大喝采を博し十時頃散會を告げたり

其二日目は神田錦輝館に於て開けり雨天なりしにも係はらず場所が好位置なりし爲に來會者も非常に多く神田區の幹事方は總出にて會場を整理せられ入會者の申込を多く受けられたり開會の順序等は前日と異なる事なく陸軍より捕護品を參考の爲に借受け幻燈の間に於て來會者に縦覧せしめ午後十一時頃無事閉會せり

其三日目は同じく錦輝館に於て開會當日は神田區在住の代議士角田眞平氏一時間余の勸誘演説を試み頗る來會者に感動を與へたり戸田仁歌中山佐々木岩佐等各評議員も來會し大に勢援を與へられたり其後の日割は左の如し

五日豐多摩郡六日南多摩郡七日四多摩郡八日北豐島郡九日北足立郡十日南葛飾郡の豫定

●義勇艦隊創設婦人部 奥村刀自は金五圓を投し且つ幹事に申込んで曰く自分も兼てより海軍の發達を望んで居る事であるからどうか速に皆さんの御盡力で艦隊の一艘も早く作られる事を希望します自分は婦人會の方が一生懸命であるから他の會の事まで御世話は出來ません而し共に國家の爲であるから双方其目的の範圍に於て相犯さす發達さして往きたいものであります微力ながら卒先して僅少の金員を寄附しますから船か出來たら一番先きに乘込む事を豫め御約束して置きます

●秋季音樂會 東京音樂學校秋季音樂會は昨四日同校演奏室に於て開會せられ非常に盛會なりし

●芝區戰時婦人會 病傷者新橋に着せし時に兵士の宿舍費を補助するの目的を以て此程設立し會長を千家男爵夫人に撰定し幹事には區内の有力なる婦人七名を推擧し會員募集中なり

●學士夫人會 帝國大學出身の學士博士達の婦人たちの催しにて一の懇話會を設立し其第一着手として戰役に關する慰勞事業の爲め各自より一圓宛醵集して愛國婦人會に寄贈し更に會員十七名より總計四十圓を出し毛布を買ひ入れて寄贈し尚ほ毎月第三木曜日の常集會には會費の外必ず一圓宛を出し會員の多少に關はらず其金は悉く愛國婦人會に寄贈する筈なりと要するに毎月第三木曜日には各夫人が定めの場處に集まりて談話會を開き春季と秋季には遠足乃至かるた會などを催し家族を同道して樂みとする例なりしが今後會員の增加すると同時に國家の爲めに大に活動する目的なりと云ふ幹事は法學博士有賀氏夫人長子 工學博士吉井氏夫人濱子 工學博士笠井氏夫人梅野子等なり

●女子躰育部 東京府教育會の設備せんとする女子躰育場は品川沖の御臺場を借受け來年早々開場する趣きなるが會員は芝浦より渡船して往復する都合なりと云ふ

●東洋女學校 村上文學博士等の設立計畫中なる同校もいよいよ來春開校の運に至るべく場所は小石川原町にて敷地二千五百坪を買入れ校舍新築中なり

●山川二葉氏 久しく女子高等師範學校の舍監を勤め此程老体の故を以て退職せられし山川二葉氏に對し文部大臣は左の謝狀を發したりと云ふ

貴下が明治十年初めて職を女子高等師範學校舍監に奉せらるゝや本邦女子寄宿舍の制度猶草創に屬し該校寄宿舍の良否は將來に於ける女子寄宿舍の發達に至大の影響を及ぼすべき時にして其任たる頗る重大なりき而して貴下此責任に當り能く學校長を助け舊に泥まず新を趁はず以て今日の發達を見るに至らしめ延て全國の女子寄宿をして矜式する所あらしむるに至りしは其功勞大なりと云ふべし實に貴下が該校創始の際より今日に至るまで二十有七年の久しき終始一日の如く其職務に勵精し至難なる女子敎育に貢獻せられたること多きは以て他の模範と爲すに足る今や貴下老體の故を以て其職を去らるゝも貴下の培養に成れる燦然たる美果は永く女子高等師範學校の寄宿舍に存すべく貴下多年の勤勞に報ゆる所ありと云ふべし本官は茲に一言を贈り謝意を表す

●大日本婦人衛生會例會を去にし三日開き堀内中佐講演せり

●廿世紀婦人雜誌演說會去にし三日神田青年會館に於て開會せり

精巧無類好評無比の寫眞名畫

征露寫眞畫帖

第五編 十一月十七日發行△月一回△一冊廿錢郵税貳錢三月分郵税共六拾錢半年分一圓十七錢一年分貳圓廿錢戰報と併讀三月分壹圓四十五錢△郵券代用一割増

東京麹町區有樂町三丁目一番地 電話本五一四 實業之日本社

大本營寫眞班の大寫眞は益精巧 特派員撮影及歐米畫伯の名畫は愈々珍奇

寫眞版四十餘枚

◎◎大本營寫眞班の最近撮影 皇天子妃殿下觀兵式の大寫眞 寺崎畫伯の奥大將 寫眞名畫等珍品滿載

▲兩皇孫殿下の御遊戲實景
▲大山大將最近撮影大寫眞
▲見玉大將最近撮影大寫眞
▲滿洲軍司令部得戰の寫眞
▲東郷大將艦上號令の實景
▲日本艦隊根據地の寫眞畫
▲黒木軍太子河徒渉の寫眞
▲旅順艦龍山砲臺突撃實景
▲劍單の雨中大激戰の實景

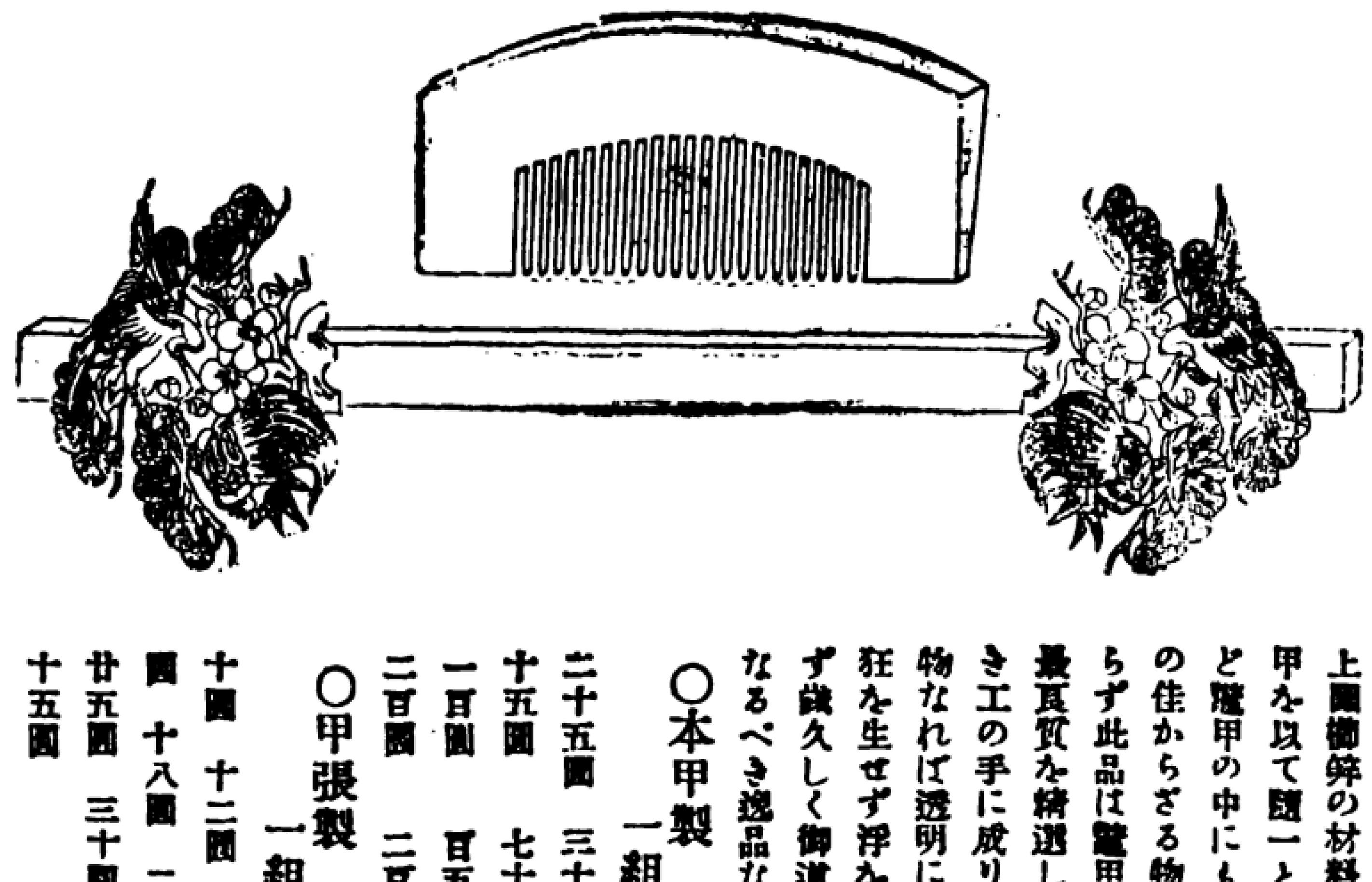
▲敵壘を越へ前進の寫眞
▲高粱中の遼陽砲撃の寫眞
▲旅順砲臺内敵疲勞の實寫
▲總の砲兵陣地破壞の慘寫
▲遼陽前面の敵鐵條網實景
▲露國僧侶陣頭先導の實景
▲巨砲を山上に引揚ぐ實景
▲露兵狽狽遼陽退却の實景
▲我勇士敵の傷兵を憐む實景

◎第壹編は六版
▲北京宮城鳥帝出御の寫眞
▲黄海海戰中の兩奇觀實寫
▲松山の捕虜御馳走の實景
▲敵の馬糧火災の實寫
▲英米人の同情祝捷會寫眞
▲遼陽に於ける三珍景寫眞
▲敵將岩山を下るの實景

第一軍寫眞帖

◎◎大本營寫眞班撮影の秘藏寫眞等 口繪六拾餘枚 外に山縣西南兩大將の題字第一軍戰史附錄 定價卅錢郵税貳錢

儀式用御櫛笄



上圖櫛笄の材料は鼈甲を以て随一となせど鼈甲の中にも品質の佳からざる物少からず此品は鼈甲中の最良質を精選して其き工の手に成りたる物なれば透明にして狂を生ぜず浮を出さず永久しく御道具となるべき逸品なり

○本甲製 一組價
二十五圓 三十五圓 十五圓 七十五圓 一百圓 百五十圓 二百圓 二百五十圓

○甲張製 一組價
十圓 十二圓 十五圓 十八圓 二十圓 廿五圓 三十圓 三十五圓

東京市京橋區尾張町 白牡丹本店 特電話新橋五五一番

半襟 新柄陳列

西京友ぜん縫取新案乾擾模樣我軍凱旋の半えり 帯あげ・帯止め・袋物・縮緬財布・小児巾着・頭巾・涎掛

東京神田區表神保町一番地 赤のまんま本店 電話本局二千八百五十三番

寫眞撮影 淺草公園 江崎

東京市日本橋區通一丁目 合名會社 森村銀行 電話(特)本局六七三番

定期預金 六ヶ月以上 年五分三厘
當座預金 百圓に付日歩 八厘
特別當座預金 同日歩 壹錢壹厘

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

東京市日本橋區新右衛門町

第一生命保險相互會社

電話　本局　一三七三
本局　一七三七

米國醫學博士ジャス氏發明薬
歯薬之王

一六散

日本諸大醫實驗頌讃功能保証

歯の痛直に止る保証
歯の腐蝕崩砕を止る
歯の熱を去る
歯の動きを能く締る

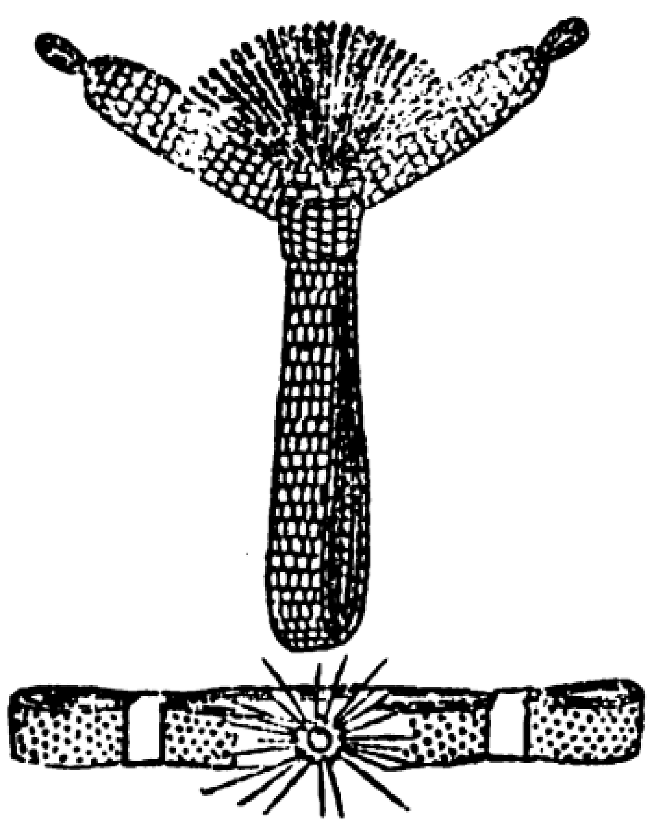
價拾錢廿錢送料貳錢　各薬店に取次
毒にならず口の荒も共に治る香でもよし

東京木挽町九丁目八番地木原山石室薬房

營業課目

御祝儀御進物用。絹糸。眞綿。組糸類一式。裝飾房物其外編物用。鶴印レース糸。糸物類一式

御注文に應じ



種々調進仕候

●品物の良好と廉價とは本店の特色

東京市京橋區南傳馬町京橋際

鶴岡助次郎支店

電話本局一七四二番

神田區南神保町二番地

小賣部　永井支店

西川商舗牛豚肉販賣 謹告

品質佳良無比類　價廉我店所最勉
配達迅速而正確　夏季殊勉其防腐
普通配達日三回　市内何處不厭遠
若有臨時急用事　走自轉車而直辨
地方配達有便法　特勉西洋料理用
請試購而評其味

價格左ニ

牛肉百匁	
ヒレー	50
ロース	45
ラン	38
スチキ	38
イチホン	38
ヒキ肉	30
プリスケ	22
ハラスープ	16
スネスープ	20
尾	15
ケンネン	05
舌	42
ケンネン油	14
ヘット	16
豚肉百匁	
上等	20
並等	18
チャプ	14
ヒキ肉	16
油	16

小石川表町廿二番地　電話番町六五九　西川本店
本郷區駒込東片町五番地　電話下谷二二七一　西川支店

袴之親玉

東京日本橋區長谷川町
卸部　美濃磯本店　電話浪花二八五九番

小賣部
本郷區本郷五丁目　美濃磯本郷支店　電話下谷一四一五番
淺草區諏訪町　美濃磯淺草支店
日本橋區佐内町　美濃磯佐内町支店
芝區新櫻田町　小田商店
牛込區神樂町一丁目　伊澤商店
四谷區傳馬町一丁目　伊澤支店

流行新柄各種

品質の撰擇は申すに及ばず專ら信切を旨とし勉強仕り居候間多少に拘らず御注文被下度遠近を問はず早速持參貴覧に入れ申べく候

神田區表神保町（小川町通り）

伊澤呉服店

電話本局二三一七番

醫院案內

院長　醫學博士　榊順次郎
副院長　醫學士　久保徳太郎
婦人科産科榊病院
東京麹町三番町卅三（電話番町三九五）

看護婦の需に應ず　東京看護婦協會
神田區錦町參、貳（電本三三一四）

耳鼻咽喉科院
院長ドクトル　山上兼輔
診療毎日午前
四谷區本村町三十七番地
電話番町七三〇（士官學校前）

婦人科外科
院長ドクトル　兒玉林平
診察午前　入院随時
兒玉病院
東京駿河臺鈴木町七番地
○電話本局百七番○

小兒病診療
醫學士　内田慎太郎
宅診午前　往診午後
淺草區福井町貳番地
●電話下谷七一八番

産科婦人科專門　ドクトル　樋口繁次
時朝後於本院診療に從事す……各科診察從前の通
東京病院
芝愛宕町　電新二六四

院長　醫學士　鳥山南壽次郎
午前診察　午後往診
鳥山内科院
京橋區鈴木町十一番地
電話新橋千七百四十八番

●**水原産科婦人病院**
○所在神田區猿樂町十二番地（電話本局千七百○九番）○外來診察午前中○入院往診随時○同院に私立産婆學校の設あり

るゐれき切らずに○心臓病（殊に瓣膜病）なをす○脚氣（轉地不必要）
診察（午前）
千葉内科院
神田區三崎町三ノ一　西通リ廿五

◉婦人科　◉小兒科　專門
宅診午前　往診午後
東京市麹町區飯田町四丁目九
女醫　鷲山彌生

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

明治三十七年十二月五日發行（毎月五日二十日二回）

油染油垢で揉まずに脱る奇代の原料

世界無比新發明 英國製ワッセル

◉此ワッセルは湯一升に二匁（小盃へ半分餘）の割合にて溶解し洗濯物を凡貳時間浸し揉まずに置き後水にて洗へば自然に脱ます白地の着物シャツ足袋等には石鹼より數倍の効用があります

◉婦人の髮は一匁五分（小盃へ半分位）を一升餘の湯に溶解して洗へば玉子と同樣の効用があります脂肪多き身躰に常に使用すれば皮膚を密にします尤も水虫糸か手のあれる事は決してありません

◉食器臺所道具は勿論戸棚板の間の拭掃除にも有効です絹木綿毛織物を晒すに至極妙です又硬水を軟水にする特効がありますす蒸汽管の鑛石も奇妙に除去ます

芳香ワッセル

◉此ワッセルは香料其他衛生に適する各種の原料とを加味せしものなれば朝夕御用ひの方に香氣馥郁として色を白くし總て皮膚の患にかゝるとなし又おしろい下を用ひずして御化粧の出來る事妙なり

ワッセル水　ワッセル石鹼

◉此品も芳香ワッセル同樣の有効品でありますは論より證據一度御用ひあれば其効能はすぐ知れます

英國製ワッセル日本一手販賣元 御肌あらい芳香ワッセル製造元 東京京橋區卅間堀三丁目河岸 三友商會（電話新橋千七百十二番）

費用と手數を省き無害有効の洗淨品

毎月壹日發行

女子文壇

第壹號 三十八年一月一日發

才媛淑女奮って投稿愛讀あれ詳細は文學世界秀才文壇外同文館の諸雜誌を見よ

定價拾錢六册前金五拾七錢郵税一册壹錢

▲特約賣捌東京堂北隆館東海堂良明堂外

東京京橋區大鋸町十一 女子文壇社發兌

大醫處方調劑

內外可溶性錠劑
消毒綳帶材料
葡萄酒滋養品類
醫療用諸器械

麴町四丁目
尾澤藥局

御用の節は電話番町百四十一番へ御願申候

登錄商標 ミルル

工業用藥品
高等賣藥類
高等化粧品類
度量衡各種
和漢洋藥品類
外國諸鑛泉
衛生消毒分娩用具
寫眞用藥品
ゴム製氷袋類
線香、薫香類
舶來ミルク及哺乳器

以上正格に、誠實に機敏に、薄利に、輕便に、駿速に、熱心に信用を第一として御需用に應じ奉らんと期す、仰ぎ希くは多少に拘はらず御愛顧御賞用あらんことを敬白

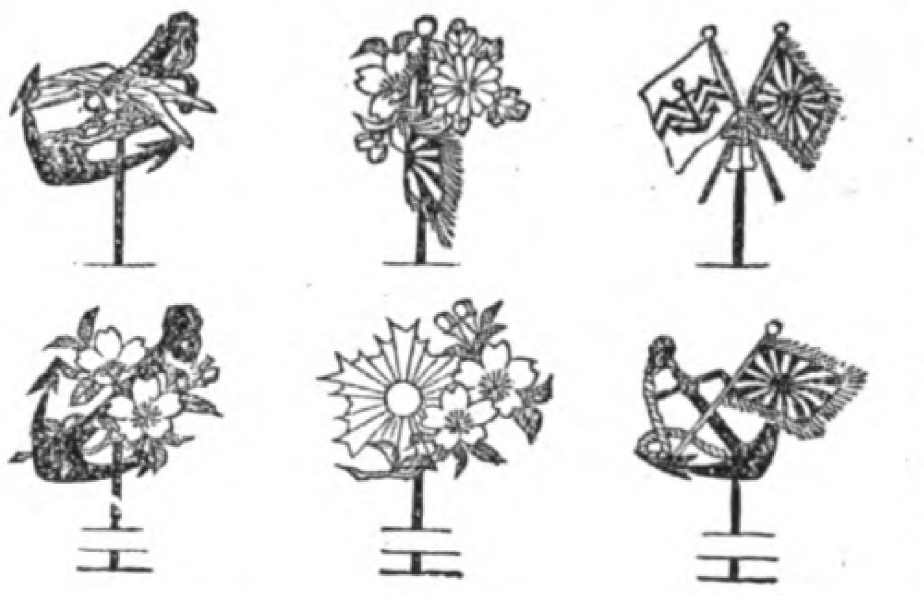
尾澤分店　東京市麴町區麴町四丁目十二番地（舊小西商店跡）　藥劑師 尾澤洪 謹白　電話番町百四拾一番

めりんす しんがら ありぎれ
大見切大安賣
人形町通住吉町
目印赤のれん おばなや

商品畧目
料理庖刀
裁縫用具
諸流生花道具

東京市江戸橋際

戰勝紀念ピン



金銀の地金に七寳の彩色うるはしく圖案は孰れも陸海軍を象れる優美なる意匠に成れるもの世の紳士淑女たちは各その胸間に飾りて此の千載一遇の皇軍大勝利の紀念としたまへかし。

定價 純銀製一個金三十五錢以上 餘は御好み次第迅速調製可仕候

手釦は孰れも陸海軍を象れる優美なる意匠を凝らしあれば世の紳士たちは洋裝に飾りて皇軍大勝利の紀念としたまへかし。

此圖案の外陸海軍連勝にちなめる斬新の意匠を凝らしたる提物澤山出來致居候

宮內省御用達

東京市下谷區池の端仲町 玉寳堂 電話下谷 特九六五番 一一二四四番

登錄商標

◉定價一磅入（約九十日分）金三圓、遞送費二十錢 ▲半磅入金一圓五十錢遞送費十五錢

◉金線草私言發見と其効能并に醫士の報告患者の實驗等は本書に詳か也（定價郵税共十二錢）

金線草十錢

◉るいれき其他結核性の療法は本藥服用に限る

製藥本舖 東京神田區鍛冶町三〇 東光堂

特約 日本橋區本石町 電話本局五八八 熱田彦兵衛

販賣 同室町三丁目 特電本局一三〇 島武商店

外各地藥店取次販賣す

無毒 クイーン白粉

艶美 クイーン水

東京 花陽堂

◎特約販賣店

◎東京堂 神田區表神保町三番地

◎東海堂 京橋區銀座四丁目

發行兼印刷人 山澤俊夫　編輯人 手島益雄　發行所 愛國婦人會內

印刷所 東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地 株式會社秀英舍第一工場

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人第六十七號附錄

明治三十七年十二月五日發行（每月五日廿日二回）
明治三十五年三月廿七日第三種郵便物認可

發行兼印刷人 山澤俊夫 編輯人 手島益雄 發行所 愛國婦人會内愛國婦人發行所
印刷所 東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地 株式會社秀英舍第一工場

監事
男爵夫人三井苞子

富山支部幹事
村　節　子

長崎支部幹事
降幡たか子

愛國婦人會發[illegible]

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN